

R5年4月18日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名 小児急性巣状細菌性腎炎患者におけるCT検査の臨床的意義の検討

対 象 下記の選択基準を全て満たし、かつ除外基準のいずれも満たさないものを本研究の対象者としてします。

選択基準

- ① 2015年7月1日～2023年1月31日の期間で、当院小児科へ入院した患者さん
- ② 「尿路感染症(疑い症例も除く)」「急性症状細菌性腎炎」と病名登録されている患者さん

除外基準

- ① 入院日に生後3ヶ月未満の患者さん
- ② 染色体異常を含めた多発奇形症候群を基礎疾患とする患者さん
- ③ 胃瘻、呼吸器などの医療デバイスを導入されている患者さん

研究期間 承認日から2025年3月31日までを予定しています。

研究目的 当院で入院した小児AFBN患者症例を解析し、CT検査の必要性、臨床的意義について検討し、不要な被曝を避け、より低侵襲に治療計画を立てることが可能となることを目的としています。

方 法 電子カルテを使用して下記の項目について抽出、検討します。

1. 基本情報(診断時年齢、性別、身長、体重)
2. 臨床情報(既往歴、症状(発熱、発熱期間、治療開始後の発熱期間、腹痛などの消化器症状の有無、排尿異常の有無、排便異常の有無、意識障害の有無)、受診時のバイタルサイン、身体所見)
3. 検査データ(末梢血:白血球数、好中球%、BUN、Cre、UA、Na、K、Cl、CRP、血液ガス、尿検査:比重、蛋白、潜血、ケトン体、沈査像、画像検査:腹部エコー、CT、培養検査結果:血液、尿、髄液)
4. 治療内容(入院の有無および期間、抗菌薬内容、静脈注射期間、内服投与期間、合計抗菌薬投与期間)

5. 転記（外科的介入の有無、1ヶ月以内の再燃の有無、膀胱尿管逆流症の
検索の有無、膀胱尿管逆流症の有無）

個人情報 臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先 兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001
MAIL：yukari.tsushima@gmail.com
研究責任者：渥美 ゆかり